

# 機密情報

## MSGが暗号化システム

企業システム構築のコンサルティングを手がけるMSG・アネックス(東京・中央、経塚悟社長)は電子カルテや財務情報など厳格な機密管理が必要な電子書類を安全に配布する仕組みを開発、十二月一日からサービスを始める。暗号化したファイルをサーバーから特定多数の利用者向けに配信できる。医師会などが採用を決めており、今後企業にも販売する。

# 安全に配信

同社の「エッグ・メッド」はソフトの期間貸し(ASP)形式で提供する。機密性が求められる電子書類を多数の特定の利用者に送信する場合や、特定のグループ間で情報交換する用途に向いている。

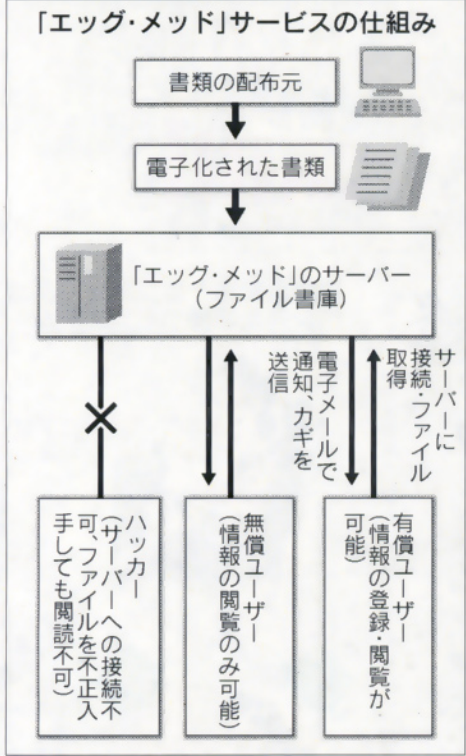
サーバー利用者にはMSGのサーバー内に専用「エッグ・メッド」の書類保存領域を提供する。配信先が一人の場合(ASP)形式で提供される。機密性が求められる電子書類を多数の特定の利用者に送信する場合や、特定のグループ間で情報交換する用途に向いている。

サーバー利用者にはMSGのサーバー内に専用「エッグ・メッド」の書類保存領域を提供する。配信先が一人の場合(ASP)形式で提供される。機密性が求められる電子書類を多数の特定の利用者に送信する場合や、特定のグループ間で情報交換する用途に向いている。

# 100名まで登録者に解読鍵

東京・青梅市やあきる野市など八市町村の医師二百人以上で構成される西多摩医師会(東京・青梅)や大手社会福祉法人である黎明会(東京・小平)での採用が決まっている。

これらの団体では、患者の治療履歴や電子カルテ、福祉データなど厳格な管理が求められる。



布されたパスワードを使ってサーバーに接続。ファイルを取得した後にカギで暗号を解除し、閲覧する。パソコンでも携帯電話でも受信できる。

シフトオーテクノロジ(東京・品川、三住光男社長)の暗号化ソフト「C4s」を使う。「暗号化」と「サーバーの利用制限」という二つの管理手法を組み合わせることで、安全に電子ファイルを配信・交換できる。保存期間を過ぎたファイルは自動的に削除される。

個人情報をインターネット上で交換する仕組みに利用。弁護士や法曹団体などが判例や依頼者の情報を交換する目的でも利用を検討中という。

同社では設計図や財務情報など機密情報のやり取りにも使えたと見て、一般企業にも販売先を広げる方針。今後一年間で一万社との契約を見込んでいる。

ネットレイティングス(東京・港、荻原雅之社長)は十月のインターネット接続業者(ISP)